

平成 29 年 5 月 18 日  
市議会議員 三宅守人

## 市政会 会派行政視察報告書

視察先：埼玉県入間市

期日：平成 29 年 5 月 18 日（木）

調査項目「小中一貫教育について」

東町小学校、中学校にて現地視察

○ (1) 事業に至った経緯について

平成 18 年当時は、中学校において、校内暴力、不登校、反社会的、非社会的な問題が多く発生した。

小学校では、授業が受けられない生徒又発達障害者等が在籍していた為に、就学前段階から、義務教育段階への円滑な接続が重要であると認識し、全ての子供たちの豊かな育みと学びを実現し、一人一人の自立を、総合的に支援する。

(2) 事業を導入した時の障害、問題点

①親、子供の環境の適応が困難な為、反対があった。

②教師の免許に問題があった。

③小学校で座席について授業が受けられない 1 年生がどの学校にも、在籍していた。

中学校では、校内暴力、いじめ、不登校など反社会的な問題があった。

○ (3) 事業効果について

発達に課題がある子の早期発見、早期支援に重点をおき臨床心理等による巡回支援、通級指導室の開設など、就学前から連続性のある支援が出来た。

(4) 今後の課題、改善について

教師の資質向上と学校力を高め「豊かな人間性」を育むことをねらいとして下記課題に取り組む必要がある。

① 教員の交流の充実

② 小中校一貫のサポーターの人材育成

③ 複雑な中学校における、一貫教育

(5) 所見

知立市においては、小中学校が変則で距離的に困難である。  
外国人との共存が先で、多文化交流を子供たちに、指導支援することが  
良いと思われます。

平成 29 年 5 月 19 日  
市議会議員 三宅守人

## 市政会 会派行政視察報告書

視察先：西東京市 下野谷遺跡公園  
期日：平成 29 年 5 月 19 日

### 調査項目

○ (1) 遺跡の保存方法について

下野谷遺跡の一部を公有地化し下野谷遺跡公園として保存した、

(2) 遺跡の活用方法について

- ① 文化財を認識し、調査研究の視点により、新たな価値づけを行う。
- ② 文化財の持続可能な保存、活用のため周辺環境の整備を行う。
- ③ 文化財の魅力を広く市内外に発信する

(3) 現状の問題点

- ① 民地の借り上げが残っている。
- ② 民間の開発業者によって、遺跡消滅（破壊）が懸念される。
- ③ 雑草の刈取り等、定期的に行う必要がある。

○ (4) 今後の課題と改善について

活用計画期間は 10 年とし、第 1 期計画は、西東京市第 2 次基本構想、基本計画との整合性を図る。  
平成 28 年度から平成 35 年度までの 8 年間の計画期間とするため、まだ先のことと考えている。

(5) 所見

知立市においても、西中遺跡、猿渡川左岸の弥生・古墳時代を中心とする遺跡がある。その一部の荒新切遺跡を早期に実施して欲しい。